

日本実験動物医学会平成 25 年度総会



2013 年 3 月 30 日（土）11：00～12：00  
東京大学駒場キャンパス（東京都目黒区）  
（第 155 回日本獣医学会学術集会）

総会次第

開 会

会長あいさつ

授賞式

平成 24 年度（第 9 回）前島賞授与式

平成 24 年度実験動物医学専門医認定式

平成 24、25 年度ウエットハンド研修会修了証授与

議長選出

議 事

[1] 会則の改訂（第 7 条及び第 11 条）

[2] 平成 24 年度事業報告

[3] 平成 24 年度決算報告

[4] 平成 25 年度事業計画

[5] 平成 25 年度予算案

[6] 秋の学会と本年度のエクスカージョンについて

[7] その他

閉 会

## 授賞式

### ◎ 平成 24 年度（第 9 回）前島賞授与式（敬称略）

受賞者：近藤 泰介（東京大学農学部獣医学課程獣医学専修）

研究課題：高脂肪食誘導肥満モデルマウスの脂肪組織炎症における NKT 細胞の機能  
解析

### ◎平成 24 年度実験動物医学専門医認定式

新実験動物医学専門医（敬称略）

池田 たま子	（認定第 095 号）
伊藤 格	（認定第 096 号）
桐原 由美子	（認定第 097 号）
古賀 哲文	（認定第 098 号）
近藤 友宏	（認定第 099 号）
清水 健太	（認定第 100 号）
高木 利一	（認定第 101 号）
武井 信貴子	（認定第 102 号）
竹内 崇師	（認定第 103 号）
久光 徹吉	（認定第 104 号）
富宿 誠吾	（認定第 105 号）
森 茂人	（認定第 106 号）
和田 聰	（認定第 107 号）
王 振吉	（認定第 108 号）

### ◎ ウェットハンド講習会修了証授与式（順不同/敬称略）

平成 24 年度「III. サル類の獣医学的管理」

浜田孝和（第一三共）、桐原由美子（島根大学）、武井信貴子（イナリサーチ）  
矢野一男（旭化成クラレメディカル）、池田たま子（秋田大学）、竹内崇師（鳥取  
大学）、奥原裕次（キッセイ薬品）、山添裕之（住友化学）、荒川 博（エーザイ）、  
和田 聰（三菱化学メディエンス）、明貝俊彦（武田薬品）

平成 25 年度「I. げっ歯類及びウサギの獣医学的管理」（第 1 回）

荒川 博（エーザイ）、高木康博（大阪大学）、小松哲郎（ボゾリサーチ）、和穎 岳  
（ヤクルト）、山田健太郎（大分大学）、蟹谷昌尚（ツムラ）、團塚 愛（京都大学）  
武田眞記夫（残留農薬研究所）、木下一哉（第一三共）、尾崎晴茂（武田薬品）  
浜田孝和（第一三共）、竹内崇師（鳥取大学）、藤森侑子（武田薬品）、花井幸次（大  
日本製薬）、大沼健太（佐藤製薬）、明貝俊彦（武田薬品）、王 振吉（福井大学）、

伊藤麻里子（名古屋大学）、綾部信哉（理化学研究所）、小山公成（アステラスリサーチテクノロジー）

## **議 事**

### **[ 1 ] 会則の改定**

#### 第 7 条（役員を選任）

改定案

第 7 条 （追加）

3. 会長は追加で若干名の理事を指名できる。

#### 第 11 条（会計）

現行

「本会の会計年度は、毎年 2 月 1 日より 1 月 31 日とする。」

改定案

「本会の会計年度は、毎年 8 月 1 日より 7 月 31 日とする。」

附則

「本会則は平成 2 5 年 4 月 1 日より施行する。」

### **[ 2 ] 平成 24 年度事業報告**

#### 1. 平成 24 年度総会の開催

日時：平成 24 年 3 月 28 日（水）11：30～12：30

場所：大宮ソニックシティ（第 153 回日本獣医学会学術集会）

議事：平成 23 年度事業報告/平成 23 年度決算報告/平成 24 年度事業計画/平成 24 年度予算案/会則の改定（第 11 条 会計年度期日の変更）／秋の学会と本年度のエクスカージョンについて/その他

#### 2. 理事会の開催

第 1 回（平成 24 年 3 月 27 日）：大宮ソニックシティ（第 153 回日本獣医学会学術集会）

第 2 回（平成 24 年 9 月 14 日）：岩手大学（第 154 回日本獣医学会学術集会）

### 3. 学術集会委員会

委員長：久和 茂（東大）

委員：池 郁生（理研、副委員長）、北村 浩（名市大）、佐加良英治（兵庫医大）、  
鈴木穂高（国立衛研）、高木久宜（日本SLC）、高橋英機（理研）、古市  
達哉（岩手大）

（1）委員会を2回開催した。

（2）下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

- 第153回日本獣医学会学術集会

- ◆ シンポジウム I

微生物コントロールに関する最近の話題

日時：平成24年3月28日 9:30～11:30

場所：大宮ソニックシティ 第7会場（会議室）

- ◆ シンポジウム II

放射能の動物への影響評価

日時：平成24年3月28日 15:30～17:30

場所：大宮ソニックシティ 第7会場（会議室602）

- 第59回日本実験動物学会総会

- ◆ JALAM シンポジウム

実験動物としてのブタ

日時：平成24年5月23日 13:30～15:40

場所：B-Con Plaza 中会議室（D会場）

- 第154回日本獣医学会学術集会

- ◆ JALAM シンポジウム

動物実験をめぐるトピックス

日時：平成24年9月14日 13:00～15:00

場所：岩手大学学生センターA棟 G42

（3）下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画した。

- 第155回日本獣医学会学術集会

- ◆ シンポジウム I

げっ歯類に関するトピックス

日時：平成25年3月29日 13:30～15:30

場所：東京大学駒場キャンパス 第5会場

◆ シンポジウム II

欧米における微生物モニタリングの現状

日時：平成 25 年 3 月 30 日 9:00～11:00

場所：東京大学駒場キャンパス 第 5 会場

● 第 60 回日本実験動物学会総会

◆ JALAM シンポジウム

マウス以外の遺伝子組換え動物（仮題）

日時：平成 25 年 5 月 24 日 13:30～15:00

場所：エポカルつくば（第 3 会場）

4. 情報・編集委員会

委員長：三好一郎（名市大）

委員：山添裕之（住友化学、副委員長）、伊藤麻里子（名大）、森松正美（北大）、  
矢野一男（旭化成クラレメディカル）

（1）JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」を発行した

- No. 39/2012.8 担当：矢野

<http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/jalam/JALAM39.pdf>

- No. 40/2013.2 担当：山添

<http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/jalam/JALAM40.pdf>

（2）日本実験動物医学会のホームページを随時更新した

- <http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/>

5. 研修委員会

委員長：竹田三喜夫（エーザイ）

委員：木村 透（自然科学研究機構、副委員長）、安居院高志（北大、担当理事）、  
上村亮三（鹿児島大）、黒木宏二（大日本住友製薬）、高木久宜（日本エスエルシー）、  
森松正美（北大）、矢野一男（旭化成クラレメディカル）、山添裕之（住友化学）

ウェットハンド研修会を担当する委員会として、昨年 6 月に発足し 9 月 14 日に第 1 回の委員会を開催した。ウェットハンド研修会「Ⅲ. サル類の獣医学的管理」を実施した。申込が多数あったが、参加者の安全管理のため参加者の枠を増やすことができず受講できない会員が出た。そこで審議の結果、平成 25 年 9 月に追加で再度「Ⅲ. サル類の獣医学的管理」を実施することとした。研修内容を標準化するた

めにコアカリキュラム案の策定を検討した。

#### 6. 実験動物学教育委員会

委員長：久和 茂（東大）

委員：安居院高志（北大、副委員長）、猪股智夫（麻布大）、岡田利也（大阪府大）、角田 茂（東大）、斎藤 徹（日獣大）、佐々木宣哉（北大）、佐藤雪太（日大）、竹内崇師（鳥取大）、二上英樹（岐阜大）、長谷川喜久（北里大）、湯川眞嘉（日大）、横須賀 誠（日獣大）

委員会開催：第 154 回日本獣医学会学術集会（岩手大学）において委員会を開催した。各大学の実験動物学の講義および実習の現状について報告し、意見交換した。

その他：角田 茂（東大）委員が新たに委員に加わった。

#### 8. 前島賞選考委員会

委員長：笠井憲雪（東北大）

委員：鈴木 真（沖縄科学技術大学院大学、副委員長）、浅野 淳（鳥取大）、上村亮三（鹿児島大）、今野兼次郎（京都産業大）、高島宏昌（食品薬品安全センター）、田中聖一（大分大）、橋本道子（アステラスリサーチテクノロジー）、古市達哉（慈恵医大）

##### ● 平成 24 年度（第 9 回）前島賞候補者の選考

前島賞候補者の選考を行い、結果を会長に報告した。

##### ・ 選考の方法

あらかじめ、メールによる委員間の意見交換により選考手順を確認し、第 152 回日本獣医学会における実験動物分科会の一般演題の中から、研究の独創性及び新規性、科学的重要性、関連分野への貢献、将来への期待を考慮して、採点した。委員が共同研究者の場合は、その候補者の採点を行わないこととし、各委員の採点の合計点及び平均点を算出した。

##### ・ 選考結果

採点の結果を委員全員により審議し、全委員の一致により、最高得点を得た近藤泰介氏を候補者として選考した。

##### ・ 候補者

近藤 泰介 氏（東京大学農学部獣医学課程獣医学専修）

- ・ 研究課題

高脂肪食誘導肥満モデルマウスの脂肪組織炎症における NKT 細胞の機能解析

- ・ 選考理由

候補者は、数年にわたり高脂肪食誘導肥満モデルマウスの脂肪組織炎症を構成する免疫細胞の機能解析を行なっている。昨年度の本大会では脂肪組織におけるNKT細胞の動態について報告しており、今回は脂肪組織炎症におけるNKT細胞の機能解析について報告した。今回の結果はIFN-gammaが脂肪組織炎症の憎悪因子であり、Th 1 型炎症が糖尿病を悪化させる要因である可能性、さらにiNKT細胞とはことなるNKT細胞がIL-4を産生する事により脂肪組織炎症を抑制している可能性を示した。これらの解明は挑戦的で、若手研究者による実験動物医学の研究として今後の発展が大いに期待できる。よって、前島賞候補者として推薦する。

#### 9. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田耕治（慶応義塾大）

委員：大沢一貴（長崎大、副委員長）、笠井憲雪（東北大、担当理事）、佐々木宣哉（北大）、横山政幸（武田薬品工業）、武井信貴子（イナリサーチ）

平成24年度は委員会を組織したのみで、特に活動は行っていない。

#### [ 3 ] 平成 24 年度決算報告（別紙参照）

1. 一般会計決算報告について
2. 会費納入状況について

#### [ 4 ] 平成 25 年度（平成 25 年 2 月 1 日～7 月 31 日）事業計画

##### 1. 総会

（参考：平成 25-26 年度総会を第 156 回日本獣医学会会期中に行う）

##### 2. 学術集会委員会

（1）第 155 回日本獣医学会学術集会時に委員会を開催予定

（2）第 155 回日本獣医学会学術集会及び第 60 回日本実験動物学会総会開催時に、教育講演・シンポジウムを企画・開催する。

（参考：第 156 回日本獣医学会時にも例年通り教育講演・シンポジウムを企画・開催する。）

### 3. 情報・編集委員会

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」を発行する。

- No. 40/2013. 2

(2) 日本実験動物医学会のホームページを随時更新する。

(参考：JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No. 41/2013. 8 も例年通り発行する。)

### 4. 研修委員会

平成 25 年度の専門医申請からはウェットハンド研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの 3 つから重複しない 2 つの受講が必須となることから、それに対応できるようにウェットハンド研修会の実施を増やす。「Ⅰ. げっ歯類及びウサギの獣医学的管理」を 3 月と 5 月に実施する。引き続きコアカリキュラム案の策定を行う。

(参考：追加の「Ⅲ. サル類の獣医学的管理」を 9 月に実施する。)

### 5. 実験動物学教育委員会

第 155 回（および第 156 回）日本獣医学会学術集会開催時に委員会を開催し、獣医学教育改善などについて、委員間の情報および意見の交換を行う。

### 6. 実験動物法規等検討委員会

国内外の動物実験に関わる法律、指針等に変更があった場合、情報の収集に努めると共に、その分析、会員への周知等を行う。

## [ 5 ] 平成 25 年度（平成 25 年 2 月 1 日～7 月 31 日）予算案（別紙参照）

### 1. 一般予算について

## [ 6 ] 秋の学会と本年度のエクスカージョンについて

秋の学会は第 156 回日本獣医学会学術集会が岐阜大学において 9 月 20 日（金）- 22 日（日）に開催される。これに合わせてエクスカージョンを実施する。幹事は伊藤麻里子（名大）会員に依頼した。

## [ 7 ] その他



1. 平成 24 年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 278 名 (平成 25 年 3 月 21 日現在)

2. 平成 24 年度入退者数

入 会 32 名

退 会 11 名

**[ 8 ] 報告事項**

1. 日本実験動物医学専門医協会 (JCLAM) の活動について

JALAM から認定事業を引き継いだ、JCLAM は第 154 回日本獣医学会学術集会 (岩手大学) 及び第 155 回日本獣医学会学術集会 (東京大学) において、JCLAM 理事会及び総会を開催した。認定委員会は、第 5 回認定専門医 (2002 年度認定)、第 10 回認定専門医 (2007 年度認定) の資格更新の審査、2012 年度新規認定申請者の資格審査を実施した。試験小委員会は、2012 年度認定試験を作成し、新規認定試験の筆記試験を実施した。その結果、14 名の新実験動物医学専門医を認定し、5 名の実験動物医学専門医を更新した。現在の専門医総数は 82 名である。

2. その他

日本実験動物医学会  
平成 23～25 年度役員会および委員会

役員会

会長（庶務担当）	安居院 高志（北海道大学）
副会長（渉外・JCLAM 担当）	黒澤 努（大阪大学）
理事	有川 二郎（北海道大学）
理事（会計・事務局担当）	池田 卓也（日本チャールス・リバー）
理事	笠井 憲雪（東北大学）
理事	久和 茂（東京大学）
理事	三好 一郎（名古屋市立大学）
監事	中井 伸子（日本新薬）
監事	八神 健一（筑波大学）

各種委員会委員長

学術集会委員会	久和 茂（東京大学）
研修委員会	竹田 三喜夫（エーザイ）
実験動物学教育委員会	久和 茂（東京大学）
情報・編集委員会	三好 一郎（名古屋市立大学）
前島賞選考委員会	笠井 憲雪（東北大学）
実験動物法規等検討委員会	下田 耕治（慶応義塾大学）